

イベント学会

2024 年度第 1 回理事会・通常総会 議案書

2024 年 6 月 18 日 (火)

14:00～15:30

於：全国中小企業振興機関協会会議室および学会 zoom アカウント

審議事項

- 第 1 号議案 「2023 年度事業報告」承認の件
- 第 2 号議案 「2023 年度収支決算」承認の件
- 第 3 号議案 「理事・監事選任」承認の件

報告事項

1. 2024 年度事業計画について
2. 第 27 回研究大会について
3. 大阪・関西万博「テーマウィーク」への参加について
4. その他

第1号議案 「2023年度事業報告」承認の件

I. 事業に関する事項

(1) 第26回特別研究大会

イベント学会設立25周年を記念し、特別研究大会を開催した。

(開催概要)

- 名称：第26回イベント学会特別研究大会
- テーマ：イベント学会設立25周年、いまこそ問い直す、イベントの意義・手法・評価
- 実行委員長：中村利雄（イベント学会会長）
- 開催日：2024年2月23日（祝）・24日（土）
- 会場：順天堂大学第3教育棟（東京都文京区本郷2-1-1）およびオンライン（イベント学会 zoom アカウント）
- 参加費：会員：5,000円（共催/後援団体会員含む）／非会員：7,000円／学生・大学院生：3,000円
- 主催：イベント学会
- 共催：一般社団法人日本イベント産業振興協会、一般社団法人日本イベント協会、日本イベント業務管理士協会

(実施内容)

1日目

- 1) 開会挨拶・課題提起
中村利雄（イベント学会会長・第26回イベント学会特別研究大会実行委員長）
- 2) 基調講演「ラグビー人生、ワールドカップ、医学への道」
福岡堅樹（元ラグビー日本代表、順天堂大学）
- 3) 特別対談「次代を担う若者世代にとっての国際イベントの意義」
福岡堅樹+中村利雄
進行：上代圭子
- 4) ポスターセッション「イベント学会が推進する共創プロジェクト」
- 5) セッション1「イベントの意義」
佐野真由子（京都大学大学院教授）／師岡文男／川西太士
進行：守屋慎一郎
- 6) セッション2「イベントの手法」
松石和俊（株式会社Meta Heroes 代表取締役）／竹中直純（株式会社メタコード代表取締役／デジタルハリウッド大学大学院教授）／鴨志田由貴（イベント学会会員／京都芸術大学キャラクターデザイン学科教授）
進行：宮本倫明

7) セッション3「イベントの評価」

神宮英夫（神宮金沢工業大学感動デザイン工学研究所顧問／情報フロンティア学部心理科学科教授）

進行：町田誠

8) 総括セッション「イベントとイベント学の新たな方向性」

中村利雄／橋爪紳也／福井昌平

進行：守屋慎一郎

9) 懇親会（ホテル東京ガーデンパレス）

2日目

1) 口頭発表オリエンテーション

2) 口頭発表（20分×6枠×3会場予定）

3) 閉会挨拶

（2）TEAM EXPO 共創チャレンジ

2022年度に引き続き、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」に「共創パートナー」として参加した。

愛・地球博で実現された「市民参加」の理念を継承し、大阪・関西万博の成功と万博の発展、万博による社会の持続可能な発展に貢献するために、一般財団法人地球産業文化研究所と共同し、企画委員会を設置、運営するとともに、「歴史文化」「水と流域」「自然遺産」をテーマとする3つの共創チャレンジを推進した。

企画委員

中村利雄会長

蔵元進（一般財団法人地球産業文化研究所専務理事）

福井昌平理事・副会長

信時理人理事

宮本倫明理事（共創チャレンジ「関西・歴史文化首都フォーラム」推進事務局長）

古澤礼太理事（共創チャレンジ「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」代表）

小野寺浩（共創チャレンジ「国内5世界自然遺産に見る自然と社会の共生と未来に残すべき人類の遺産」代表）

事務局

守屋慎一郎理事・副事務局長

内田なお子（イベント学会事務局）

※詳細内容、別添報告書参照

(3) 地域本部

①東日本地域本部

本部長：町田誠理事 副本部長：岡星竜美理事
事務担当：田中力会員、加藤修会員、加藤茂男会員

実施事業1) イベント大学の開校

東日本地域本部においては以下の目的の下、会員が自由な発想で情報発信・交換を図り、イベント学会の成果を社会に還元するプラットフォームとして、Web 上に「イベント大学」を開校した。

・目的

- ①イベント学会最大のリソース= 会員の知識・知恵の共有と活用
- ②個人会員/ 賛助会員とも相互にもっと知り合う場の創出
- ③常設ウェブサイト設置によるコンスタントな情報発信
- ④新分野等における若手会員の積極的発信による活性化等

・構成

- ①イベント研究学部
- ②スポーツイベント学部
- ③アート・カルチャーイベント学部
- ④イベントまちづくり学部
- ⑤博覧会学部
- ⑥イベントビジネス学部
- ⑦その他学部

(運用方法など)

- ・投稿については会員に限定
- ・会員間の意見交換や、閲覧される一般の方々からのレスポンスを得ながら、イベント学の知見と技術を深め、プロデュース力、発信力、実践力を高めていくことを目指す。
- ・賛助会員が有する技術・サービスの PR、イベント開催の広報宣伝なども可。

(イベント大学 URL)

<https://www.youtube.com/@event-university>

②中部地域本部

本部長：谷喜久郎理事 副本部長：古澤礼太理事
事務担当：原田伸介会員

実施事業1) 「第7回大人のためのSDGs 街Café」開催(2023年12月9日)

「参宮街道 伊勢河崎町での“文化大香流”」と題して、三重県伊勢市で伊勢参りの旅先案内人「伊勢御師」に着目してその「おもてなし」について、香道などを交えて学んだ(以下プログラム抜粋)。

- －伊勢河崎商人館：『伊勢河崎町』まち街歩き・『御師のおもてなし「伊勢河崎町での文化大香流」』
- －解説「参宮街道と御師の文化サロンについて」：伊勢河崎街づくり衆 高橋徹氏
- －体験「志野流香道 聞香会」：志野流香道 社中
- －話題提供「現代の御師によるおもてなし」：旧御師丸岡宗太夫氏
- －御師弁当/ 神饌に因んだ“御師弁当” 参宮街道 割烹 大喜

実施事業2) 大阪・関西万博 TEAM EXPO 共創チャレンジ「いのちをつなぐ水と流域一地球市民対話」の推進（地域フォーラム2024 in Osaka の開催等）

※実施内容は「TEAM EXPO 共創チャレンジ」項に記載

③西日本地域本部

本部長：宮本倫明理事 副本部長：信時正人理事、川井徳子会員

事務担当：井野良子会員

実施事業1) 大阪・関西万博 TEAM EXPO 共創チャレンジ「関西・歴史文化首都フォーラム」の推進（滋賀フォーラム／兵庫フォーラム／京都フォーラムの開催等）

※実施内容は「TEAM EXPO 共創チャレンジ」項に記載

（4）研究助成

2023年度研究助成金（一般1件、学生1件）を交付するとともに、2024年度研究助成の募集を行い、一般1件、学生2件の研究を採択した。

選考委員長：橋爪紳也理事・副会長

選考委員：福井昌平理事・副会長、師岡文男理事、野川春夫理事・副会長

<2024年度研究助成採択者>

①一般：サステナブルなイベント運営に向けた行動科学及びナッジの活用に関する研究（その2）

申請者：植竹香織会員

助成金額：300,000円

②学生：女子W杯開催後におけるスタジアム観戦決定要因の類似点と相違点：WEリーグを事例として

申請者：太田明李準会員

共同研究者：伊藤央二非会員

助成金額：100,000円

③学生：地域行事を通じたソーシャルキャピタルと地域愛着の醸成 一沖縄県伊江村の陸上競技会に着目して一

申請者：照屋琴実準会員

共同研究者：岡安功会員

助成金額：100,000円

(5) 機関誌「イベント学研究」

イベント学会機関誌『イベント学研究』第7巻を編集し、発行した。

発行：2024年3月31日

編集委員長：師岡文男理事（委員長・全体総括、研究大会報告担当）

副編集委員：萩裕美子理事（※）

編集委員：宮本倫明理事、信時正人理事、守屋慎一郎理事・副事務局長

※副編集長の萩理事は2023年4月19日に逝去されました。亡くなられる直前まで『イベント学研究』の編集作業をなさっておられました。永年の萩理事のご貢献に感謝と敬意を表紙、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(6) 広報事業（オンライントーク）

オンライントークについては、第26回特別研究大会の準備に注力する必要があったことから、2023年度は実施を見送った。2024年度以降は東日本地域本部が実施する「イベント大学」に活動を統一する。

(7) ウェブサイト改修

昨年度に引き続き、今年度は小規模な修繕のみとし、その他、会員からの情報提供などに対応し、お知らせ等の更新を行なった。小規模修繕での修正点は以下のとおり。

- ・第26回研究大会ページの制作
- ・第25回研究大会アーカイブページの制作

編集：守屋慎一郎理事・副事務局長

(8) JACE 交流会

今年度は実施を見送った（但し2024年1月15日に学会幹部による懇親会を実施し、これにJACE幹部を招待した。経費は管理費の会議費に計上）。

Ⅱ. 運営に関する事項

(1) 総会・理事会・運営会議等

総会、理事会、運営会議を以下のとおり開催した。今年度は会長を実行委員長として特別研究大会として開催した関係から、通上の運営会議は開催せず、研究大会に向けた企画会議を複数回開催しており、これをあわせて記載する。

会長、事務局による個別報告会、事務局のみによる会議等はこれを省略す。

開催日	種別	主な議題
5月30日	研究大会企画委員会	第26回特別研究大会の開催内容について その他
6月13日	第1回理事会 通常総会	第1号議案 「2022年度事業報告」 承認の件 第2号議案 「2022年度収支決算」 承認の件
8月31日	研究大会企画委員会	第26回特別研究大会の開催内容について その他
11月17日	研究大会企画委員会	第26回特別研究大会の開催内容について その他
1月15日	JACE 交流会	イベント学会と JACE の連携について
3月11日	第3回理事会	第1号議案 「2024年度事業計画(案)」 について 第2号議案 「2024年度事業予算(案)」 について 第3号議案 「選挙管理委員選任」 について

第2号議案 「2023年度収支決算」承認の件

(1) 収支計算書

自. 令和5年4月1日 至. 令和6年03月31日

イベント学会

収入の部

(単位:円)

科目	予算金額	決算金額	差引残高
前年度繰越金	4,384,812	4,384,812	0
入会金収入	(150,000)	(125,000)	(25,000)
個人会員入会金	50,000	25,000	25,000
賛助会員入会金	100,000	100,000	0
会費収入	(5,610,000)	(5,524,000)	(86,000)
個人会員年会費	1,800,000	1,770,000	30,000
準会員年会費	10,000	4,000	6,000
賛助会員年会費	3,800,000	3,750,000	50,000
事業収入	(2,600,000)	(2,043,840)	(556,160)
研究大会	600,000	594,000	6,000
team expo	2,000,000	1,449,840	550,160
雑収入	(0)	(8,401)	(△8,401)
雑収入	0	8,370	△8,370
受取利息	0	31	△31
当期収入合計	(8,360,000)	(7,701,241)	(658,759)
収入合計	12,744,812	12,086,053	658,759

支出の部

(単位:円)

科目	予算金額	決算金額	差引残高
事業費	(6,775,000)	(5,914,682)	(860,318)
研究大会	2,400,000	2,567,489	△167,489
team expo	2,000,000	1,935,445	64,555
東日本地域	350,000	320,000	30,000
中部地域	350,000	214,524	135,476
西日本地域	350,000	0	350,000
機関誌	400,000	396,000	4,000
研究助成	500,000	400,000	100,000
広報事業(オンライントーク)	50,000	0	50,000
ウェブサイト改修	300,000	81,224	218,776
JACE交流会	75,000	0	75,000
管理費	(2,585,000)	(2,019,176)	(565,824)
業務委託費	1,000,000	1,000,000	0
会議費	150,000	144,128	5,872
旅費交通費	150,000	3,900	146,100
消耗品費	50,000	4,372	45,628
通信運搬費	400,000	302,664	97,336
資料作成・印刷費	300,000	150,712	149,288
賃借料	400,440	400,000	440
雑費	50,000	7,580	42,420
振込手数料	0	5,820	△5,820
予備費	84,560	0	84,560
当期支出合計	(9,360,000)	(7,933,858)	(1,426,142)
次年度繰越金	3,384,812	4,152,195	△767,383
支出合計	12,744,812	12,086,053	658,759

(2) 主要増減

①収支全体について

2023年度は、イベント学会設立25周年を記念した特別研究大会を開催することとし、単年度収支で△1,000,000円、次年度繰越金が3,384,812円となる予算を組んでいた。

結果的に研究大会の事業費（支出）は予算を上回ったものの、TEAM EXPOとの兼ね合いから地域本部による予算執行が大幅に減少したほか、ウェブサイト改訂の縮小、オンラインの積極活用による各種管理費の減少等により、当期収支は△232,617円、次年度繰越金は4,152,195円となった。次年度繰越金は予算を767,383円上回った。

②収入の部

入会金 : 個人会員は予算をやや下回る。賛助会員については予算どおり。

個人会員年会費 : 会員数の未達および未納会員が一部あり微減。

賛助会員年会費 : 新規加入1社、退会1社。新規加入が下半期のため、年会費は予算から微減となった。

研究大会参加費 : ほぼ予算どおりながら微減。

TEAM EXPO : 2022年度事業費の一部が2023年度振込、2023年度事業費の一部が2024年度振込となっている。2022年度事業費が予定を下回ったため、2023年度の収入が予算を下回っている。

雑収入 : ジャーナル頒布料金、送料、ジャーナル投稿料

参考：現在会員数（2024年5月）

種別	会員数	備考
個人会員	174	2023年度会費未納者含む
準会員	3	
賛助会員	25	37口

③支出の部


<事業費>

- 研究大会： 大会内容の充実、運営体制拡充のために予算を約 16 万円超過。
- TEAM EXPO： ほぼ予算どおり
- 東日本地域本部： 「イベント大学」の開校準備等に使用、ほぼ予算どおり。
- 中部地域本部： 「大人のためのSDGs 街Café」に使用、予算から約 13 万円減。
TEAM EXPO「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」関連の事業費は TEAM EXPO 予算にて実施。
- 西日本地域本部： TEAM EXPO「関西・歴史文化首都フォーラム」関連事業のみのため、地域本部予算は未執行。
- 研究助成： 2023 年度助成金を執行。学生採択 2 件予定が 1 件となったため減。
- 機関誌発行： 予算内にて実施。
- 広報事業： 未執行。
- ウェブサイト改修： 大規模な改修がなかったため減。
- JACE 交流会： 開催せず。

<管理費>

- 業務委託費： 予算どおり。
- 会議費： ほぼ予算どおり。
- 旅費交通費： オンライン会議の活用等により大幅減。
- 消耗品費： 特段の購入品がなかったため減。
- 通信運搬費： 郵便物での連絡を避けること等により減。
- 資料作成・印刷： オンライン会議システムの活用による資料印刷の減少等により減。
- 賃借料： 予算どおり。
- 振込手数料： 今年度より振込手数料は別行にて管理。

②ゆうちょ銀行

振替口座残高証明書	
口座番号	00120-0- 357450
加入者名	イベント学会
令和 6年 3月31日現在の口座残高	
*****3,192,646円	
上記のとおり証明します。	
令和 6年 4月 1日 ゆうちょ銀行 	
このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、 お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで お問い合わせください。	

(4) 監査報告

イベント学会 会長 中村利雄 様

監査報告書

イベント学会の2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）
事業報告および計算書類は、適正かつ妥当であるものと認めます。

2024年6月8日
イベント学会

監事 津川 敦

津川 敦 

監事 松平 輝夫

松平 輝夫 

第3号議案 「理事・監事選任」選任の件

イベント学会会則および理事・監事選任規定に則り、以下のとおり役員選挙を実施した。

選挙管理委員：橋爪紳也、野川春夫、上代圭子

選挙期間：2024年4月10日～4月30日 開票日：2022年5月17日

有効投票数：87票

①役員選挙による理事候補者（得票上位11名、あいうえお順、敬称略）

※10位が2名となったため、得票上位による理事候補者を11名とする。

氏名	所属	備考
岡星竜美	目白大学 メディア学部 特任教授	
上代圭子	東京国際大学 人間社会学部 准教授	
中村利雄	公益財団法人 全国中小企業振興機関協会 会長	
信時正人	株式会社エックス都市研究所 理事	
橋爪紳也	大阪公立大学 特別教授	
福井昌平	CI 戦略プロデューサー	
古澤礼太	中部大学 国際ESD・SDGs センター 准教授	
町田誠	(一財)公園財団 常務理事／横浜市立大学大学院客員教授	
宮本倫明	株式会社 Landa 代表取締役	
守屋慎一郎	合同会社企画室 代表	
師岡文男	上智大学 名誉教授、スポーツ庁 前参与	

②会長・副会長推薦による理事候補者（4名、あいういお順、敬称略）

推薦理由：理事選挙において上位得票あり、学会活動の活性化と会員拡大への貢献が期待できる。得票上位による理事候補者が11名となったため、会場・副会長推薦による理事候補者は4名とする。

氏名	所属	備考
川井徳子	ノブレス・グループ代表	新任
川西太士	株式会社 EFK 代表取締役	新任
原田伸介	株式会社新東通信	新任
山口志郎	流通科学大学人間社会学部 教授	新任

③監事候補者（2名、あいうえお順、敬称略）

推薦理由：イベント関連団体との連携強化および大所・高所からの俯瞰が期待できる。

氏名	所属	備考
津川敦	(一社)日本イベント産業振興協会 専務理事	
松平輝夫	(一社)日本イベント協会 理事長	